



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 株式会社北洋銀行 上場取引所 東 札
 コード番号 8524 URL <https://www.hokuyobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 安田 光春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 進藤 智 (TEL) 011-261-1311
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	104,471	△3.6	14,423	△4.7	10,469	△23.7
2018年3月期第3四半期	108,456	△2.5	15,140	△15.4	13,731	△7.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △6,647百万円 (△122.1%) 2018年3月期第3四半期 30,010百万円 (46.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	26.53	26.51
2018年3月期第3四半期	34.41	34.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	9,603,526	418,960	4.2
2018年3月期	9,500,510	430,945	4.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 412,925百万円 2018年3月期 424,814百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	6.00	—	5.00	11.00
2019年3月期	—	5.00	—		
2019年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2018年3月期第2四半期末配当金の内訳

普通配当金 5円00銭 記念配当金 1円00銭(創立100周年記念配当)

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,300	△2.3	21,200	39.9	13,700	0.0	34.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	399,060,179株	2018年3月期	399,060,179株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,306,729株	2018年3月期	85,359株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	394,628,795株	2018年3月期3Q	398,956,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

※2019年3月期第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の減少等による資金運用収益の減少を主因に前第3四半期連結累計期間比39億円減少し、1,044億円となりました。一方、経常費用は、営業経費等の減少により前第3四半期連結累計期間比32億円減少し、900億円となりました。

これらの結果、経常利益は前第3四半期連結累計期間比7億円減少し、144億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比32億円減少し、104億円となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比55億円減少し828億円、経常利益は同14億円減少し138億円となりました。また、リース業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比6億円増加し216億円、経常利益は同2億円増加し5億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、貸出金は6兆3,055億円と前連結会計年度比537億円増加いたしました。預金及び譲渡性預金は8兆6,046億円と前連結会計年度比1,826億円増加いたしました。有価証券は1兆2,880億円と前連結会計年度比2,017億円減少いたしました。

これらの結果、総資産は9兆6,035億円と前連結会計年度比1,030億円増加し、負債は9兆1,845億円と同1,150億円増加、純資産は4,189億円と同119億円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,409,341	1,410,568
コールローン及び買入手形	2,681	220,010
買入金銭債権	14,481	14,008
商品有価証券	4,345	4,533
有価証券	1,489,802	1,288,059
貸出金	6,251,728	6,305,522
外国為替	7,399	5,279
リース債権及びリース投資資産	49,490	51,691
その他資産	158,667	189,252
有形固定資産	88,412	87,359
無形固定資産	8,786	7,761
退職給付に係る資産	75	153
繰延税金資産	273	487
支払承諾見返	52,801	55,416
貸倒引当金	△37,778	△36,577
資産の部合計	9,500,510	9,603,526
負債の部		
預金	8,344,356	8,328,670
譲渡性預金	77,667	275,978
売現先勘定	31,064	3,205
債券貸借取引受入担保金	145,169	68,438
借入金	328,848	357,648
外国為替	125	535
その他負債	52,122	63,622
賞与引当金	1,828	450
株式給付引当金	—	53
退職給付に係る負債	228	502
睡眠預金払戻損失引当金	1,976	2,161
ポイント引当金	384	339
特別法上の引当金	—	19
繰延税金負債	30,347	24,925
再評価に係る繰延税金負債	2,643	2,599
支払承諾	52,801	55,416
負債の部合計	9,069,565	9,184,566
純資産の部		
資本金	121,101	121,101
資本剰余金	72,367	72,327
利益剰余金	133,386	139,994
自己株式	△0	△1,314
株主資本合計	326,854	332,108
その他有価証券評価差額金	92,193	75,438
土地再評価差額金	5,380	5,281
退職給付に係る調整累計額	387	96
その他の包括利益累計額合計	97,960	80,817
新株予約権	128	106
非支配株主持分	6,001	5,928
純資産の部合計	430,945	418,960
負債及び純資産の部合計	9,500,510	9,603,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
経常収益	108,456	104,471
資金運用収益	58,040	53,878
(うち貸出金利息)	46,765	45,072
(うち有価証券利息配当金)	10,768	8,334
役務取引等収益	21,763	22,113
その他業務収益	21,602	23,402
その他経常収益	7,049	5,076
経常費用	93,315	90,048
資金調達費用	3,142	2,275
(うち預金利息)	355	314
役務取引等費用	9,099	8,836
その他業務費用	22,795	22,471
営業経費	56,757	54,066
その他経常費用	1,521	2,397
経常利益	15,140	14,423
特別利益	378	590
固定資産処分益	378	6
負ののれん発生益	—	550
段階取得に係る差益	—	33
特別損失	361	266
固定資産処分損	168	109
減損損失	193	156
税金等調整前四半期純利益	15,157	14,747
法人税、住民税及び事業税	561	2,135
法人税等調整額	880	1,874
法人税等合計	1,442	4,009
四半期純利益	13,714	10,737
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	267
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,731	10,469

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	13,714	10,737
その他の包括利益	16,295	△17,385
その他有価証券評価差額金	16,198	△17,094
退職給付に係る調整額	96	△290
四半期包括利益	30,010	△6,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,564	△6,574
非支配株主に係る四半期包括利益	446	△72

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

2019年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益状況【単体】

- ・コア業務純益は、108億円と前年比4億円の増加となりました。コア業務粗利益が636億円と前年比19億円減少したものの、経費（除く臨時処理分）が同23億円減少したことによるものです。
- ・経常利益は、貸倒償却引当費用が前年比14億円増加したことから前年比14億円の減少となりました。
- ・四半期純利益は、98億円と前年比42億円の減少となりました。

(単位：百万円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年比	2018年度通期 (業績予想)
経常収益	88,414	82,850	△5,564	110,700
コア業務粗利益	65,592	63,672	△1,920	89,300
資金利益	55,466	51,935	△3,531	
役務取引等利益	10,148	10,316	168	
その他	△22	1,420	1,442	
経費（除く臨時処理分）	55,171	52,807	△2,364	71,300
コア業務純益	10,421	10,865	444	18,000
貸倒償却引当費用	△1,653	△221	1,432	1,500
有価証券関係損益	1,157	1,167	10	
国債等債券関係損益	△2,287	△1,545	742	
株式等関係損益	3,445	2,713	△732	
その他の経常損益	2,097	1,645	△452	
経常利益	15,330	13,899	△1,431	20,500
特別損益	16	△259	△275	
税引前四半期純利益	15,346	13,639	△1,707	
法人税等	1,233	3,761	2,528	
四半期（当期）純利益	14,113	9,878	△4,235	13,500
実質業務純益	8,133	9,319	1,186	
業務純益	8,133	9,319	1,186	

(注) 1. コア業務粗利益＝資金利益＋役務取引等利益＋（その他業務利益－国債等債券関係損益）

2. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（臨時処理分を除く）

2. 主要勘定等残高（平均残高・期末残高）【単体】

- ・資金量平残は、8兆5,059億円と前年比2,441億円の増加となりました。うち法人預金は前年比734億円、個人預金は同1,757億円それぞれ増加、地方公共団体・金融預金は同50億円の減少となりました。
- ・資金量末残は、8兆6,245億円と前年比2,254億円の増加となりました。
- ・預り資産末残は、2,743億円と前年比466億円の減少となりました。
- ・個人年金保険等は、6,736億円と前年比517億円の増加となりました。

(1) 資金量・預り資産等
(平均残高)

(単位：億円)

	2017/12期	2018/12期	前年比	2018/9期	2018/9期比
資金量	82,618	85,059	2,441	84,995	63
法人預金	22,471	23,206	734	23,176	30
個人預金	53,758	55,515	1,757	55,288	226
地方公共団体・金融預金	6,387	6,337	△50	6,530	△192

(期末残高)

(単位：億円)

	2017/12末	2018/12末	前年比	2018/9末	2018/9末比
資金量	83,990	86,245	2,254	85,025	1,219
預り資産	3,210	2,743	△466	2,996	△252
公共債保護預り	1,450	1,248	△202	1,305	△145
投資信託	1,759	1,495	△264	1,690	△69
合計	87,201	88,988	1,787	88,021	820
個人年金保険等	6,219	6,736	517	6,621	415

(注) 1. 資金量＝預金＋譲渡性預金

2. 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

- ・貸出金平残は、事業者、個人および地方公共団体等のすべてで増加し、6兆2,710億円と前年比960億円の増加となりました。
- ・貸出金末残は、6兆3,651億円と前年比407億円の増加となりました。うち中小企業等貸出金は、前年比763億円、北海道内向け貸出金は同126億円それぞれ増加となりました。
- ・有価証券末残は、1兆2,880億円と前年比3,116億円の減少となりました。

(2) 貸出金

(平均残高)

(単位：億円)

	2017/12期	2018/12期	前年比	2018/9期	2018/9期比
貸出金	61,750	62,710	960	62,599	111
事業者	25,775	26,068	292	25,796	272
個人	17,334	17,774	439	17,696	77
地方公共団体等	18,639	18,867	227	19,106	△239

(注) 地方公共団体等には国及び土地開発公社を含む

(期末残高)

(単位：億円)

	2017/12末	2018/12末	前年比	2018/9末	2018/9末比
中小企業等貸出金	35,816	36,580	763	35,727	852
貸出金	63,244	63,651	407	62,680	971
北海道内向け貸出金	52,781	52,907	126	52,050	857

(3) 有価証券

(期末残高)

(単位：億円)

	2017/12末	2018/12末	前年比	2018/9末	2018/9末比
有価証券	15,997	12,880	△3,116	13,938	△1,057

3. 自己資本比率 (国内基準)

2018年12月末の自己資本比率 (国内基準) については、現在算出中であり、計数が確定次第、別途開示する予定です。

4. 有価証券の評価損益

・有価証券評価損益は、1,050億円と2018年9月末対比151億円の減少となりました。

【単体】

(単位：億円)

	2018/9末			2018/12末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	2018/9末比	評価益	評価損
その他有価証券	1,202	1,255	52	1,050	△151	1,101	51
株式	1,072	1,086	14	917	△154	926	9
債券	131	140	8	159	27	163	3
その他	△1	28	30	△27	△25	11	38
日経平均株価	24,120円			20,014円			
新発10年国債利回	0.125%			△0.010%			

5. 金融再生法に基づく開示債権

・金融再生法開示債権は、746億円と前年比89億円の減少となりました。
 ・開示債権比率（部分直接償却後）は、0.90%と前年比0.10ポイント改善いたしました。

【単体】

(単位：億円)

	2017/12末	2018/12末	前年比	2018/9末	2018/9末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	305	264	△40	280
危険債権	424	375	△49	377	△1
要管理債権	106	105	△0	100	5
合計	836	746	△89	757	△11
部分直接償却後	651	595	△55	598	△2
正常債権	64,418	64,943	524	63,950	992
総与信額	65,254	65,689	434	64,708	980
部分直接償却後	65,069	65,539	469	64,548	990

<総与信に占める開示債権の比率>

(単位：%)

	2017/12末	2018/12末	前年比	2018/9末	2018/9末比
開示債権比率	1.28	1.13	△0.15	1.17	△0.04
部分直接償却後	1.00	0.90	△0.10	0.92	△0.02

(注) 部分直接償却は未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。